

喜界町

図書館だより

12月号



【通算 第306号】

2021（令和3）年12月1日発行

〒891-6201

喜界町大字赤連字樋口前30番地

TEL：0997-65-0962

FAX：0997-65-2523

e-mail:toshokan@kikai-lib.jp

ブックスタート
図書館からのプレゼント！
（コットンバッグ・絵本）



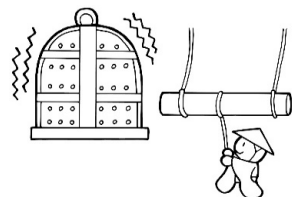
赤ちゃんと保護者が、絵本を介して
一時の心の触れ合いをつかむ、きっか
けづくりのお手伝いをしています。

大晦日（おおみそか）今昔

一年の最後の日である「大晦日」。旧暦では毎月の最終日を「晦日（みそか）」と言い、一年の最後の晦日であり、最も大事な日である12月末日を「大晦日」と呼ぶようになったそうです。

「喜界町誌」では、昔の大晦日の様子について、「門松飾り、砂山作り、庭や座敷周りの道路の清掃、砂まきは主として子どもの仕事であった。主人は畑や砂糖小屋等の外の仕事に一応の始末をつけ、午後から子どもを連れて墓参りをした。家同様に門松を立て、香を焚き、焼酎や水を供え、礼拝をして帰った。家では主婦が、年の夜の支度、正月料理の準備で大忙しだった。年の夜は、一家揃って年越しのご馳走を食べる。特に、豚骨と大根の煮込みとフィルイチイ（ニンニクの葉と豚肉、ニンジン等を油で炒め、醤油、砂糖で味付けをする）は無くてはならない年越しの料理である。夜には遅くまで家族で語り合った。年の夜から元旦にかけては、「幸運を掃き出す」という理由で室内を掃かない習慣であった。」と記しています。

正月の準備や年越しの料理、過ごし方など時代とともに変わってきたものもあるかもしれませんが、大晦日の忙しさだけは昔も今も変わらないようです。ご家族お揃いでよいお年をお迎えください。



視野を広げる読書

読書とは「著者との対話」にほかなりません。著者がどう考えているのか、どう感じたのかなど著者の思考の過程をたどることで、自分以外の視点で考えることができるようになり、多くの本を読んだ人は多くの視点を持つようになると思います。

ベストセラー「最強の働き方」の著者ムーギー・キム氏は、「広い視野を持つことで、周りの人とは違うユニークな考え方を提供できるようになります。たとえば、新しい企画やアイデアを出すときには、一つの視点に凝り固まってはなかなか良いアウトプットができません。さまざまな角度から可能性を検討するためには、読書によって培われた広い視野が不可欠なのです。」と述べています。

自分自身の視野を広げるためには、とにかく学びのアンテナを広げることが大切だと思います。年の瀬の忙しい時期ではありますが、身の回りのいろいろなことに興味を持ち、いろいろなジャンルの本を手にとってみてはいかがでしょうか。

お知らせ



本は期間内に返却しましょう！

募集中！

読み聞かせボランティアを募集しています。
興味のある方は、図書館へ連絡ください。

《年始めイベントのご案内》

【ことばくじを引いて福を当てよう！】

期日：令和4年 1月4日（火） 1月5日（水）

※ 期間中は、ことばくじを引いて福を当てたり「おすすめの本」を福袋にして貸し出したりします。

【お正月おはなし会】

日時：令和4年1月8日（土）午後2時から

※ 1/4（火）から貸出冊数無制限！



《年末年始休館日のお知らせ》

下記の期間お休みいたします。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

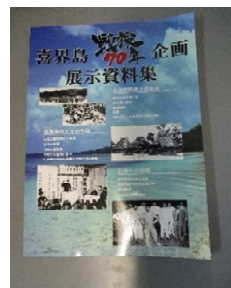
【12月29日（水）～1月3日（月）】

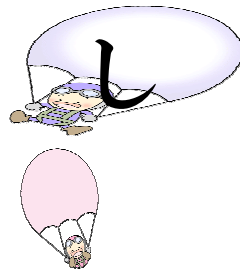
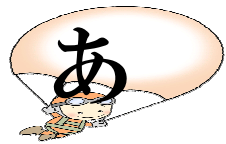
再版「喜界島 戦後70年企画 展示資料集」お分けいたします

町民のみなさまのご要望等もあり、2017年（平成29年）に出版いたしました標記の資料集を、本年8月に再版いたしました。

この資料集には、2016年（平成28年）に喜界町図書館で開催した戦後70年「喜界町終戦直後の記憶とくらし」の企画展に合わせて準備した資料や、各集落区長さんを窓口を実施した80歳以上の方々のアンケート等が掲載されています。

喜界町図書館では、本資料集を有料（1500円）でお分けしておりますので、購入を希望される方は喜界町図書館カウンターまでお越しください。





《おとなの本》

《こどもの本》

★『民王』池井戸潤 著 KADOKAWA

高西環境大臣が人を狂暴化させる謎のウイルスに感染した。陰謀論者の台頭で、危機に陥る第二次武藤泰山内閣。ウイルスはどこからやってきたのか。泰山は国民を救うべく…。

★『居酒屋「一服亭」の四季』東川篤哉 著 講談社
鎌倉の路地裏でひっそりと営まれる居酒屋「一服亭」。人見知りな美人女将は、実はとんでもない名探偵だった！ユーモアミステリー。

★『私はカーリ、64歳で生まれた』

カーリ・ロースヴァル ナオミ・リネハン著 海象社
スウェーデンで養父母に育てられたカーリは、64歳になって初めて自分がナチスのアーリア人増殖施設「レーベンスボルン（生命の泉）」で生まれたことを知り…。運命に翻弄されながら懸命に生きた2世代の母親の物語。

★『輝山（きざん）』澤田瞳子 著 徳間書店

★『嫌われた監督』鈴木忠平 著 文藝春秋

★『たたかわない生き方』大下容子 著 CCDメディアハウス

★『たっくん』さかきばらたえ ながおかたくまさく 三恵社
太陽にあたるとやけどをしてしまう病気を持ったたっくん。上手に歩けないけれど、一生懸命自分の足で歩きます。まわりのみんなは、病気のことも、たっくんのやさしさも知っていて…。病気と生きる子どもの姿を描く。

★『トモダチ』Dom Dom絵 あいはらひろゆき作 ナニサト
くまのぬいぐるみガウと黒猫ムン。ひよんなことで出会った二人は、旅の中で心を通わせ、やがて信頼し合うようになり…。日本の人気作家とベトナムの注目画家が美しい色彩で描いた友情と絆の物語。

★『音にさわる』日比野尚子絵 広瀬浩二郎作 偕成社
全身が「手」の「さわるくん」が、つえをもって、音をさがしに出かけます…。見えない人も見える人も楽しめるよう、点字と隆起印刷を施した絵本。

★『おさるのジョージうんどうかいにでる』

Mレイ H. A. レイ原作 岩波書店

★『ゴーゴー！おむつちゃん』

出口かすみえ ケロボンズさく 赤ちゃん和妈妈社



10月の貸出ベストリーダー3



一般書			児童書			雑誌		
1	噂を売る男	梶 よう子 /著	1	ふしぎ駄菓子屋銭天堂 危険生物超攻略図鑑	読み物 自然科学	1	特選街 10月号	
	教場X	長岡 弘樹 /著		うみでなんのぎょうれつ？	絵本		NHKすてきにハンドメイド9月号	
	熱風団地	大沢 在昌 /著		探し絵ツワー	絵本	2	NHKきょうの料理 10月号	
				だんごむしコロコロ	絵本		Casa BRUTUS 10月号	
				ポッポポーン	絵本		暮らしの手帳 8-9月号	
							クロワッサン 10月10日号	

12月

日	月	火	水	木	金	土
11/28	11/29	11/30	1	2	3	4
	休館日			資料 休館日	ブックスタート おはなし会 団体貸出	クリスマスお はなし会 ぬいぐるみお とまり会
5	6	7	8	9	10	11
	休館日					おはなし 会
12	13	14	15	16	17	18
	休館日				移動図書館 回収子育て 支援来館	おはなし 会
19	20	21	22	23	24	25
	休館日					おはなし 会
26	27	28	29	30	31	1/1
	休館日		年末年始休館日（12/29～1/3）			

※ は、休館日です
《毎週月曜日・第1木曜日（祝日の時は翌日）》
・開館時間 午前10時～午後6時

10月統計 (26日)	貸出冊数	令和3年度合計
	1,976 冊	19,815 冊
	来館者数	令和3年度合計
	618 名	4,180 名

おはなし会・ミニ映画

図書館2階で
毎週土曜日 午後2時～2時40分

★おともだちどうし、おさそい合わせ
のうえ、お気軽にご参加ください。

